

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養専門課程	スーパーテクノロジー科(昼間I部)	夜・通信	3,240時間	320時間	
	スーパーテクノロジー科(昼間II部)	夜・通信	3,240時間	320時間	
	ゲームクリエイター科	夜・通信	2,400時間	240時間	
	e-sports科	夜・通信	2,400時間	240時間	
	デジタルクリエイター科	夜・通信	2,400時間	240時間	
	総合マンガ科	夜・通信	2,400時間	240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公開 <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公開 <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 取締役会長	2023. 4. 1- 2026. 3. 31	地域との連携
非常勤	株式会社 取締役会長	2023. 4. 1- 2026. 3. 31	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)                  全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。また、学生便覧にて、授業開始前に学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページにて公開 <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)                  全学科、定期試験(実技、筆記、レポート等)の成績により学習成果の評価を行い、単位認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。  評価基準は下記の通り  出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格  上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋デザイン&テクノロジー専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
財産目録	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
事業報告書	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>

## 2. 教育活動に係る情報

### ①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スーパーテクノロジー 一科（昼間I部）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	360 単位時間	3240 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140人		159人	2人	4人	78人	82人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。</p> <p>評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点</p> <p>A... 89～80点</p> <p>B... 79～70点</p>

<p>C... 69～60点  F... 59～ 0点－不合格  【卒業・進級判定基準】  卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。  1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。  2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。  3. 卒業認定については3年次 171 単位以上、4年次 228 単位以上必要となる。</p>
<p>学修支援等  (概要)  本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	8人 (88.8%)	1人 (11.2%)
(主な就職、業界等) ゲーム、IT 業界全般			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
134 人	12 人	8.9%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	スーパーテクノロジー 一科（昼間Ⅱ部）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	360 単位時間	3240 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		45人	0人	3人	78人	81人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格  出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。  2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点  A... 89～80点  B... 79～70点  C... 69～60点  F... 59～0点－不合格</p>



<p>【卒業・進級判定基準】</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。</p> <p>2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p> <p>3. 卒業認定については3年次171単位以上、4年次228単位以上必要となる。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>本校ではスチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) スーパーテクノロジー科(昼間Ⅱ部)は2026年度に卒業生を輩出いたします。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	3人	8.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学費支弁困難		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	ゲームクリエイター 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2700 単位時間	300 単位時間	2400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	88人	0人	3人	78人	81人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>

3. 卒業認定については3年次171単位以上、4年次228単位以上必要となる。

学修支援等

(概要)

本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (86.3%)	0人 (0%)	14人 (73.7%)	5人 (26.3%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、IT業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
79人	2人	2.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	e-sports 科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	300 単位時間	2400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		81人	0人	2人	78人	80人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>

3. 卒業認定については3年次171単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードメントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (96.3%)	0人 (0%)	20人 (77%)	6人 (23%)
(主な就職、業界等) e-sports 業界、ゲーム業界、イベント業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）) イベント検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	3人	3.6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	デジタルクリエイター 一科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	300 単位時間	2,400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		93人	5人	3人	29人	32人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>

3. 卒業認定については3年次171単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 (91.7%)	1人 (9%)	5人 (45.5%)	5人 (45.5%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、CG業界、デザイン業界、映像業界、広告業界			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	3人	4.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養 専門課程	総合マンガ科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,700 単位時間	300 単位時間	2,400 単位時間	0 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,700 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	81人	0人	2人	78人	80人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全学科、業界関係者からの意見を参考にし、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬までに学生に説明の上、本校ホームページにて公表。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。 評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：F(0.0) 不合格</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定の上、認定している。</p> <p>（進級及び卒業）</p> <p>所定の授業日数の3分の1以上欠席した者は、進級又は卒業することができない。ただし、各学年において欠席日数が出席すべき日数の3分の1以内であっても、各学科目及び実習にかかる出席時間数が所定の時間に満たない者は、補習を受けなければ進級又は卒業することができない。</p> <p>（成績評価）</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. S・A・B・Cを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>S... 100～90点 A... 89～80点 B... 79～70点 C... 69～60点 F... 59～0点－不合格</p> <p>（卒業・進級判定基準）</p> <p>卒業・進級の判定基準は以下の通りとする。</p> <p>1. 各年次総57単位以上を取得した者は進級・卒業することができる。 2. 上記1に該当する者は卒業・進級判定会議により最終決定する。</p>



3. 卒業認定については3年次171単位以上、4年次228単位以上必要となる。
学修支援等
(概要) 本校ではチュードメントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (89.7%)	0人 (4.2%)	11人 (42.3%)	15人 (57.7%)
(主な就職、業界等) ゲーム業界、アニメ業界、			
(就職指導内容) ビジネスマナー講座、履歴書対策、面接対策、ポートフォリオ添削、合同企業説明会、個別企業説明会等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78人	4人	5.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更の為		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリング、本学園進路変更委員会による姉妹校への転校、学費分納措置及び教育ローンの提案		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
スーパーテクノロジー科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
ゲームクリエイター科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
e-sports 科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
デジタルクリエイター科	100,000 円	690,000 円	723,300 円	
総合マンガ科	100,000 円	690,000 円	713,300 円	
修学支援 (任意記載事項)				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、個別で延納、分納措置を講じている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生代表、保護者代表、近隣関係者、高等学校関係者とともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が行なった自己点検、自己評価の内容を通し、学校運営の改善に活かすことを方針としている。 評価項目としては下記とする。 ・教育理念、目的、育成人材像について・学校運営について・教育活動について ・教育成果について・学生支援について・教育環境について ・学生募集と受け入れについて・財務について・法令等の遵守について		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ゲームクリエイター	2023年4月1日～2025年3月31日	卒業生代表
スーパーテクノロジー科(昼間I部) 在校生 保護者	2023年4月1日～2025年3月31日	保護者代表
矢場町一丁目町内会	2023年4月1日～2025年3月31日	近隣関係者
愛知県立春日井高等学校 校長	2024年4月1日～2026年3月31日	高等学校関係者
株式会社新東通信スケッチ 代表取締役	2024年4月1日～2026年3月31日	業界関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/school/public_info/">https://www.nca.ac.jp/school/public_info/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.nca.ac.jp/">https://www.nca.ac.jp/</a>
--